

トピックス 9月1日は防災の日

毎年9月1日は、**防災の日**です。

防災の日が9月1日になった理由は、1923年9月1日に発生した「関東大震災」にちなんでいます。関東大震災は、東京や神奈川、埼玉、茨城、千葉、静岡など広大な地域で震度6以上の強い揺れを観測し、各地に甚大な被害をもたらした大地震です。死者・行方不明者は推定10万5,000人にものぼり、明治以降の日本で起こった地震災害の中で今なお最大の被害規模として記録されています。

災害はいつ起こるか分かりません。そのため、万が一に備えて防災対策をしておくことが大切です。ここでは誰でも気軽にできる災害対策をご紹介します。

◎食料や水の備蓄

ライフラインが停止した際に備えて、非常食や飲料水は備蓄しておきましょう。また、トイレ用紙やティッシュ、マッチなど生活必需品の備蓄も必要です。本来備蓄は1週間分を用意するのが望ましいとされていますが、保管場所や管理、コストの問題もあるので難しい場合はできる限りで問題ありません。

◎持ち出しバッグの準備

非常時にサッと持って避難できるよう、日頃から持ち出しバッグを用意しておくことも大切です。バッグの中には食料や貴重品、衣類、救急用品などを入れておきましょう。また、災害に巻き込まれた際、確かな情報源を持っているかどうかは時にその後の明暗を分けます。

そのため、携帯ラジオやスマートフォンの電池切れを予防するポータブル充電器も忘れてはいけません。



ちよつと紹介 防災おすすめグッズ

情報収集に欠かせない携帯電話やラジオに使える充電器

乾電池も充電もいらない、水と塩だけで使えるスマホ充電器兼ライトです。1台でスマホ充電器、LEDランタン、LED懐中電灯の3役をこなします。自然放電の心配もないので、10年以上の長期保存が可能。軽量・コンパクトなので女性でもラクラク持ち運びが可能です。



停電時に活躍するライト

わずかな水で光る、電池の要らないLEDライトです。泥水や雨水でもOK。約7日間ずっと点灯してくれます。